

学校 教育 目標	夢に向かって 希望を持ち ともにばたく いぶき野の子 ~温かい言葉 思いやりの心 笑顔あふれる学校~				
	【知】自ら課題を見つけ、試行錯誤しながらねばり強くやりとげることができる子を育てます。 【徳】思いやりの心を持ち、温かい言葉やあいさつをかわすことができる子を育てます。 【体】自分で健康を守り、体力をつけることができる子を育てます。 【公】まちやひととの関わりを大切に、社会の一員としての姿勢や資質を身に付けた子を育てます。 【開】コミュニケーションを通して異なる文化や考え方を尊重し相互に理解し合おうとすることができる子を育てます。				
学校 概要	創立 29 周年	学校長 山根 淳一	副校長 佐々木 茂	2 学期制	一般学級: 23 個別支援学級: 5
児童生徒数: 762 人 主な関係校: 田奈中学校・長津田小学校・長津田第二小学校					

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	田奈中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「まちから育つ長津田の子」 「言語能力」 「自分づくり」 「問題発見解決能力」	田奈中学校 いぶき野小学校 長津田小学校 長津田第二小学校	○自ら学び、活用・探求し、未来をひらく知を創造する子ども ○道徳的に自律し、よりよく生きていこうとする子ども ○他者の生命を尊重し、健康でたくましく生きていく子ども ○地域の人・社会・自然に学び、地域を愛し、貢献する子ども ・合同研修会や相互の情報交換等を通して児童生徒理解を図り、児童生徒指導上の課題解決に取り組んでいます。 ・合唱祭やふれあいのつどい等の行事を通して児童生徒の交流を深め、子どもたちが安心し、期待感をもって中学校に進学できるようにします。

中期 取組 目標	だれもが安心して、自分の夢に向かって成長していくことのできる学校創りを目指します。 ・主体的に学習に取り組み、互いに学び合いながら、問題を解決していく力を育てます。 ・人とのふれ合いや関わり合いを大切に教育活動を展開し、互いに認め合い、思いやることのできる心を育てます。 ・心身の健康のために、進んで運動したり、毎日の食事を大切にしたりすることができる力を育てます。 ・地域の特色や地域教材を生かした教育課程を工夫し、まちの「ひと・もの・こと」とのつながりを意識した体験的な活動を通して、まちを大切にすることを育てます。 ・学校、家庭、地域、諸機関の連携を密にして、安心して安全な学校生活が送れるようにします。 ・異なる文化や考え方を尊重することができるようにします。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	<ul style="list-style-type: none"> 児童の「できた」「わかった」を大切に授業づくりに努める。 めあてを示し、板書を生かしながら見直しをもって授業に取り組めるようにする。 お互いの思いや考えを安心して伝え合える場面を工夫し、学び合い高め合える授業づくりを行う。 学習時の児童の「ふりかえり」を大切に、「次につなげる」授業を意識した授業改善を図っていく。
担当 学力・評価	
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> クラブ、委員会活動、登校班での異学年の人や地域の人と積極的にかかわりをもつようにする。 道徳の時間を大切に、心の姿を価値づける。 人権週間の取り組みを工夫し、計画的に意識を高める。 あいさつ運動を実施し、気持ちの良い人間関係を育む。 障がいがある「ない」にかかわらず、すべての児童が教育的ニーズに応じた支援を受けられるような体制を作る。
担当 特活・児童指導	
健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> すこやか会議では、児童の健康課題を捉えて年間のテーマを決め、その課題を解決していくための方法を全校で共有していく。 体力アップを目指して、各学年に応じた運動に取り組むと共に、熱中症対策もしっかりと行っていく。 給食時間やばくばくだより、食育タイム(月1回)を使って、計画的に食育を取り組み、食に対する興味関心をより持たせていく。 感染症予防として、教室の環境を整えたり、自分の健康を守るために出来ることを取り組んでいく。
担当 健康・体育	
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と教職員の連携を図り、子どもを育てていく思いを共有し環境や体制を整える。(複数の相談窓口や支援があることを周知する。) 全職員で情報を共有する場をもち、児童への適切な支援ができるようにする。 TT(チームティーチング)や取り出しによる学習支援をする。 学校外の諸機関とも連携し、必要に応じて支援を要請する。 特別支援教育支援員をできるだけ配置し、児童一人一人へのサポートを厚くする。 級外職員と担任の連携を密にしながら、児童支援専任やコーディネーターを中心とした特別支援教育を充実させ、合理的配慮を行い、一人ひとりのニーズに対応した教育を実現していく。
担当 特活・児童指導	
キャリア教育 (自分づくり)	<ul style="list-style-type: none"> 「生活科」「総合的な学習の時間」を中心に、できる限り地域と関わり、教材となるものの開発を行う。 地域の「ひと・もの・こと」と積極的に関わり、問題解決的な学習ができるような授業展開を工夫して実践する。 お雛や和太鼓・ソーラン節などを演じる体験を通して、次代につながる伝統文化を大切にしようとする意識を高めたり、本物との出会いから自身の生き方を見つめなおす力を養いつける。 自分づくりパスポートを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返りして自己評価を行い、主体性を育てる。
担当	
学校運営協議会 (地域連携)	<ul style="list-style-type: none"> 委員の方に、可能な範囲で行事や授業を参観する機会を作り、学校の特色やよさを知ってもらう。 学校運営協議会の意見や助言を積極的に学校運営に取り入れる。 地域の人や自然、文化とかかわる学習や活動を工夫して取り入れていく。 地域、家庭との交流、連携を深め、地域の学校として「ひと・もの・こと」と可能な範囲で関わっていく。
担当 教務	
	b7
担当	
	b8
担当	
いじめへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 「誰もが、安心して豊かに生活できる学校」であるために、担任以外にも児童支援専任等、相談できる人が複数いることを知らせ、問題の解決にあたる。 いじめアンケートやYIP、面談などを年間複数回行い、児童一人一人の心に丁寧に寄り添う。 児童支援専任を中心に、常に全教職員で児童を見守る体制を構築する。 日常的な学習や出前授業を計画的に行い、いじめは絶対につけないという意識を育てる。 校内研修を通して、未然防止、早期発見ができるスキルアップをする。 複数の級外職員で巡回し、常に学級状況を把握できるようにする。 ネットいじめ対策として、年に1回インターネットの安心・安全な使い方について学ぶ機会を設ける。
担当 特活・児童指導	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	<ul style="list-style-type: none"> OJT(重点研を企画、運営するMドルリーダーとメンターリーダーを中心に、職員同士で自主的に学び合う組織づくりを進め、校内OJTを必要感のある研修にいく)。 学校運営協議会の助言や学校評価等からのデータをもとに、教職員それぞれが広い視点で目標を定め学校運営に参画する。 キャリアステージに応じた目標と具体的取組を設定(自己観察)して校務に取り組むことで教師力の向上を目指す。 行事や業務の精選を行い、教育課程を軸とした効果的な教育活動を実践していく。 学習の時間を効果的に活用し、放課後の教材研究に充てられる時間を確保する。 留守番電話の設定時間を見直し、長時間労働の解消を図る。 高学年教科分担任を実施し、教材研究の質と量の効率化を図る。
担当 OJT推進・教務	